

地方創生時代の地域再エネ事業の旗手が集結！
グリーンパワー全国サミット 2017 in 東京

日時：3月18日（土）13:10～17:10（開場 12:30）
場所：イイノホール&カンファレンスセンター4階 RoomA

経済産業省資源エネルギー庁は、再生可能エネルギー（以後再エネ）の地域での事業化を生む人材育成を目的とした「まちエネ大学」を実施しています。この度、事業実施4年間の集大成として、地域で再エネ事業を行い活躍している事業者が集い、地方創生として再エネを活用する意義や可能性、「まちエネ大学」から生まれた地域発再エネ事業プランを発表する「グリーンパワー全国サミット 2017 in 東京」を、平成 29 年 3 月 18 日（土）に開催いたします。

当日は、日本の再エネ推進策における地域協働型再エネ事業化の意義について『グリーンパワーの現在と未来』と題して、東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学特別部門客員准教授、まちエネ大学事業発表会審査員の松本真由美先生に基調講演をいただきます。その後、各地で多様な電源の地域協働型再エネ事業を進める3名の事業家の皆さんが一堂に会し、地域再エネ事業の成功の秘訣をご紹介します。また、全国8地域で開催していた「平成 28 年度まちエネ大学」の受講生の皆さんが考案した再エネ事業プランの中から特に優れた4つのプランの発表を行います。

なお、本サミットの取材をご希望の際は、別紙取材申込書に必要事項をご記入いただき、下記広報事務局宛てに3月17日（金）18:00までにFAXにてご返信くださいますようお願い致します。

■開催概要

名称：グリーンパワー全国サミット 2017 in 東京

日時：3月18日（土）13:10～17:10（開場 12:30）

場所：イイノホール&カンファレンスセンター4階 RoomA

住所：東京都千代田区内幸町 2-1-1

（東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C4 出口直結）

内容：<第一部> 基調講演

『グリーンパワーの現在と未来』

<第二部> パネルセッション

『再エネビジネスのつくり方①—地域協働型事業の挑戦から』

<第三部> ビジネスプラン発表

『再エネビジネスのつくり方②—まちエネ大学の4年間の取組から』

※詳細は次項ご参照

主催：経済産業省資源エネルギー庁

企画・運営：まちエネ大学事務局（株）トゥリー内）

URL：<http://greenpower-summit.jp/>

<一般からのお問い合わせ>

まちエネ大学事務局（株）TREE 内）

担当：木村、宮城 TEL：050-3735-8600

mail: gpp@greenpower.ws

<報道関係者からのお問い合わせ>

まちエネ大学広報事務局（ひとしづく株内）

担当：金子・小久保 TEL: 045-274-8674

mail: press@hitoshizuku.co.jp

■プログラム内容の詳細

当日は、日本の再エネ推進策における地域協働型再エネ事業化の意義などについての基調講演の後、各地で多様な電源の地域協働型再エネ事業を進める事業者の皆さんが一堂に会し、地域再エネ事業の成功の秘訣をご紹介します。また、全国8地域で開催していた「平成28年度まちエネ大学」の受講生の皆さんが考案した再エネ事業プランの中から4つのプランの発表を行います。

第一部：基調講演

『グリーンパワーの現在と未来』

我が国における再生可能エネルギー（グリーンパワー）の現在とエネルギーの地産地消にむけた可能性や未来について見通しを探ります。

**松本 真由美（東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学
特別部門客員准教授）**

専門は環境コミュニケーション。研究テーマは、環境とエネルギーの視点からの持続可能な社会のあり方について。

第二部：パネルセッション

『再エネビジネスのつくり方①—地域協働型事業の挑戦から』

市民発地域再エネ事業者による実体験をもとにした「再エネビジネスのつくり方」をパネル形式で紹介し、太陽光・小水力・バイオ熱のそれぞれの事業課題や起業する際のポイント、再エネが地域にもたらす多様な価値について議論します。

<パネリスト>

井上保子（宝塚すみれ発電代表取締役/太陽光/兵庫県宝塚市）

環境を重視した市民活動に長年携わる。2012年12月に宝塚市初の市民発電所をNPOの仲間と建設。現在、宝塚市内を中心に太陽光発電やソーラーシェアリング事業を各所で展開している。

野村典博（NPO 法人地域再生機構副理事/小水力/岐阜県郡上市）

1956年 大垣市生まれ 愛知工業大学土木工学科卒 大学卒業後、建設コンサルタントに入社。’90年代後半より、公共事業における合意形成のスキームづくりや事業評価手法の検討を手がける。

井筒耕平（村楽エナジー株式会社代表取締役/バイオマス・熱/岡山県西栗倉村）

1975年愛知県生まれ。備前グリーンエネルギー株式会社、美作市地域おこし協力隊を経て現職。岡山県西栗倉村で薪工場の運営、薪・丸太ボイラー導入コーディネーターを行い、実践的な木質バイオマス利用を進めつつ調査研究やSNS発信を行う。2015年、閉鎖していた「あわくら温泉元湯」を再生し、開業。

<モデレーター>

下村委津子（認定NPO法人 環境市民理事）

環境、持続可能な社会づくりに関わるテーマの講座やワークショップのファシリテーターとして数多くの実績を持つほか、フリーアナウンサーとして同テーマにちなんだ番組やイベント等の司会も行う。

第三部：ビジネスプラン発表

『再エネビジネスのつくりかた②—まちエネ大学の4年間の取組から』

平成25年度から今年度で4年目となる実践型再エネ地域人材育成スクール「まちエネ大学」の取り組みから地方創生時代の再エネビジネスの可能性を探ります。

1. 『再エネビジネスをはじめするには—まちエネ大学を通じて見えてきたもの』

まちエネ大学の取り組みの実績や成果の紹介と今後の持続可能な地域づくりに必要な地域人材について、過去4年間の取り組みから紹介します。

水野雅弘（まちエネ大学事務局／株式会社トゥリー代表取締役）

コールセンターモデルやCRMの第一人者として、金融業界を中心に大手企業に対し20年以上のコンサルティング経験と実績を持つマーケティング戦略コンサルタント。最近では持続可能な社会への普及啓発事業に注力し、デジタル映像やICTを活用したサステナビリティ教育デザインや地域ブランディングにおけるプロデューサーとして未来創造事業を推進。

2. 『地域に根ざした市民発再エネビジネスプランの発表』

市民が考える「地域課題（地域資源）×再エネ」の事業プランから多様な再エネの活用の可能性を探り、地域での事業化ノウハウやコツを学んでいきます。

<発表者>

平成28年度まちエネ大学講座から4つの再エネ事業リーダー

①菅原佐喜雄さん（一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会／一関スクール@岩手県市）<ソーラーシェアリング×しいたけ栽培で地域の農業衰退に歯止めをかける>

②藤田知丈さん（暮らシフト研究所代表／米原スクール @滋賀県米原市）
<山村集落での木質バイオマス地域熱供給仕組みづくり>

③坂東勉さん（会社員／黒部スクール@富山県黒部市）
<小水力発電を契機とした食エネルギーによる地域ブランド化への挑戦>

④杉田英治さん（NPO法人五ヶ瀬自然学校理事長／熊本宮崎スクール@五ヶ瀬町）
<木質バイオマス熱供給を通じた観光活性化&次世代エネルギー教育>

<コメンテーター>

松本真由美（東京大学教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学特別部門
客員准教授／まちエネ大学事業発表会審査員）

小松真実（ミュージックセキュリティーズ株式会社代表取締役）

ファンドを通じた地域や地域資源の活性化、復興などに尽力。2013年世界経済フォーラム（ダボス会議）より Young Global Leaders に選出。

井上保子（宝塚すみれ発電代表取締役／平成25年度まちエネ大学滋賀スクール卒業生）

<進行>

木村麻紀（まちエネ大学事務局／株式会社トゥリー）

環境と健康を重視したライフスタイルを指すLOHAS（ロハス）について、ジャーナリストとしては初めて日本の媒体で本格的に取り上げて以来、地球環境の持続可能性を重視したビジネスやライフスタイルを分野横断的に取材し続けている。米コロンビア大学経営大学院客員研究員などを経て、地域コミュニティデザイン・地域人材育成のプロジェクトを手掛ける。

<「まちエネ大学」とは>

太陽光、風力、地熱、バイオマスといった環境への負荷の少ない再生可能エネルギーを使って、環境に配慮したビジネスや持続可能な地域づくりを行う人材を育てるサステナブル・ローカル・ビジネススクール。経済産業省資源エネルギー庁主催、全国各地の地域金融機関と地方自治体との協働事業として、平成25年度から4年間で全国23の地域別スクールを開講。これまでに約700人が受講し、事業計画作成の中心的役割を担った事業構想リーダー約100名を輩出した。スクール終了後はそれぞれの地元に戻って、事業化に向けて奮闘している。今年度は、北海道旭川市、秋田県鹿角市、岩手県一関市、富山県黒部市、滋賀県米原市、鳥取県鳥取市、福岡県北九州市、熊本県・宮崎県広域の8カ所で開講中。

地方創生時代の地域再エネ事業の旗手が集結！

グリーンパワー全国サミット 2017 in 東京

日時：3月18日(土) 13:10~17:10 (開場 12:30)
場所：イイノホール&カンファレンスセンター4階 RoomA

誠にお手数ではございますが、ご出欠をご記入の上、**3月17日(金)**までに
下記FAX番号へご返信下さいますようお願い申し上げます。

返信FAX番号:045-330-6853

<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
貴社名	
貴紙・誌・番組名	
ご所属名(部署)	
ご担当者名	計 _____ 名
MAIL	
TEL	
FAX	
ご連絡欄	

<アクセス>

◆住所

〒100-0011
東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビルディング4F

◆最寄り駅

- ・東京メトロ千代田線 霞ヶ関 C4出口 直結
- ・東京メトロ銀座線 虎ノ門 9番出口 徒歩3分
- ・都営三田線 内幸町 A7出口 徒歩3分



<p style="text-align: center;"><一般からのお問い合わせ></p> <p>まちエネ大学事務局 (株)TREE 内) 担当：木村、宮城 TEL：050-3735-8600 mail: gpp@greenpower.ws</p>	<p style="text-align: center;"><報道関係者からのお問い合わせ></p> <p>まちエネ大学広報事務局 (ひとしずく(株)内) 担当：金子・小久保 TEL: 045-274-8674 mail: press@hitoshizuku.co.jp</p>
--	---